

第19回



シンポジウム 2014 in ながさき

現地見学会
中島川歴史さるく＆稻佐山・浦上川探訪

8/22(金) 9:00(集合)～16:00(解散)

時刻 見学場所

9:00 長崎駅大村ボート発着場

バス移動

9:15 西山ダム

バス移動

10:45 本河内高部ダム

バス移動

11:25 中島川(眼鏡橋)

バス移動

12:05 (昼食) 新地中華街

徒歩移動

13:10 出島【さるくガイドによる案内】

バス移動【14:00解散】

14:20 稲佐山展望所【ティータイム】

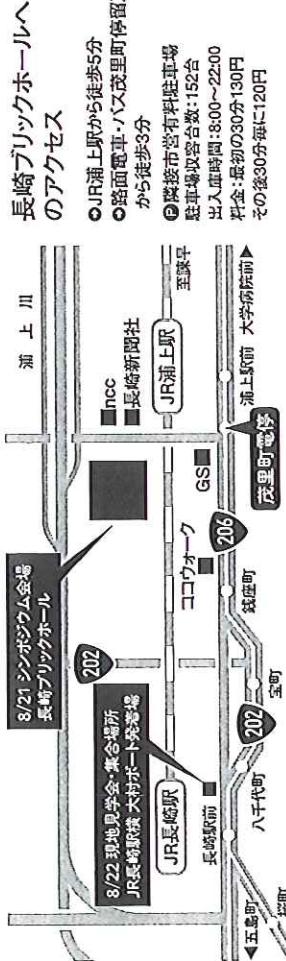
バス移動【14:45発】

15:05 浦上川

バス移動【15:40発】

16:00 長崎駅

会場案内図



第19回 水シンポジウム2014 in ながさき実行委員会

(公益社団法人土木学会水工学委員会・国土交通省九州地方整備局・長崎県・長崎市)

主催 (公財)長崎県建設技術研究センター、(一財)防災研究協会、(一社)日本建設標準化会議九州支部、(一社)日本建設標準化会議会議長、(一社)長崎県建設コンサルタント協会、水土保持ネット長崎、(一社)長崎県土地改良事業団体連合会、(一社)長崎県土地区画整理事業協会、(一社)長崎県河川防災・防災協会

共催 (一社)長崎県建設コンサルタント協会九州支部、(一社)長崎県建設コンサルタント協会、(一社)長崎県土地区画整理事業団体連合会、(一社)長崎県河川防災・防災協会

後援 (一社)ダム工学会、協力 /長崎県河川交渉会および会員団体

Our Life, with River 公益財団法人河川財团による
河川整備基金 河川整備基金の助成を受けています

このシンポジウムは、一般社団法人九州地域づくり協会の助成を受けています。
一般社団法人九州地域づくり協会

8/21(木) シンポジウム

8/22(金) 現地見学会

9:00(集合)～16:00(解散)

参加料金: 定員40名(先着順) / 参加料2,000円

長崎ブリックホール(長崎市立野町2-38)
大ホール・国際会議場

プログラム

午前の部[大ホール]

9:00 開場

開会(オープニングセレモニー)

開会いさつ/英賓いさつ

特別講演(日本水資源機構)

10:00 基調講演

10:40 登壇者紹介

11:50 会場説明

ラウジング(会場説明)

国際会議場(第1分科会)

13:00 テーマ別分科会(会場説明)

第1分科会「国際会議場」

第2分科会「大ホール」

休憩/ノベル展示・ブース

見て!聞いて!私たちのよか川(協力:長崎市川文化会)

子どもたちによるイベント

16:00 全体会議 各分科会のまとめとメッセージ発信

17:00 次回開催県挨拶

閉会

午後の部[大ホール]

長崎ブリックホールへ

のアクセス

JR浦上駅から徒歩5分

○路面電車・バス茂里町停留所から徒歩3分

○隣接市営地下駐車場

駐車場収容台数: 152台

出入庫時間: 8:00～22:00

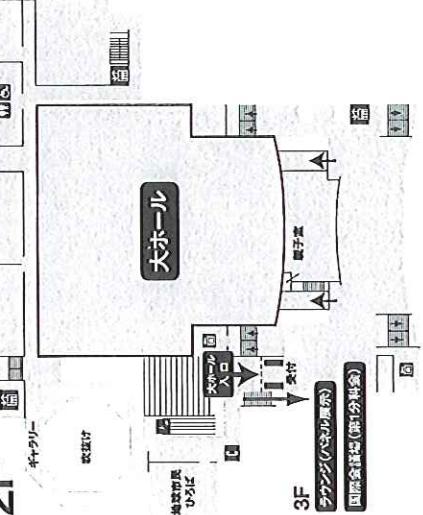
料金: 最初の30分130円
その後30分毎に120円

Our Life, with River 公益財団法人河川財团による
河川整備基金 河川整備基金の助成を受けています

このシンポジウムは、一般社団法人九州地域づくり協会の助成を受けています。

一般社団法人九州地域づくり協会

8/22(金) シンポジウム会場入り口案内図(2F)



第19回水シンポジウム2014 in ながさき実行委員会 委員長 道奥 康治 (みちおく こうじ)

公益社団法人土木学会水工学委員会 委員長
法政大学デザイン工学科都市環境デザイン工学科教授 工学博士

第1分科会／3F・国際会議場

水の恵みを守り活かそう ～水資源を次世代につなぐ「長崎方式」を発信(再発見)しよう～

テーマ別分科会／13:00～15:10 3F・国際会議場、2F・大ホール

基調講演／10:40～11:50 2F・大ホール



水の恵みを守り活かそう ～水資源を次世代につなぐ「長崎方式」を発信(再発見)しよう～

専門分野：環境水理学、河川工学

1977年 大阪大学工学部修士課程修了
1979年 大阪大学工学部助手
1986年 共同研究者として宇都宮市河川課に勤務
1988年 千葉大学工学部助教
2014年 法政大学デザイン工学科都市環境デザイン工学科教授

開催にあたって

関係にあたつて

コーディネーター 角 哲也 (水工学会委員会環境水理会長／京都大学防災研究所教授)

テーマ① 水の恵み (歴史的水道施設、ダムの役割)

ナレリスト 岡林 隆敏 (筑波大学名誉教授)

角谷 伸介 (延岡市上下水道局事業部浄水課長)

川崎 秀明 (一般財団法人ダム技術センター首席研究員)

風水害と呼ばれたが如きのハーディを克服して水資源を獲得してきた長崎一水との関わりを通して人々の生活を支えるため多くの努力が費されています。地盤構造の変化によって水を取り巻く私たちの今後は不透明となり、くらしの歴史にも転換が求められています。シンボルシムを加えて異国最前線の長崎から次世代の水文化を発信します。

特別講演(日本水フォーラム報告)／10:00～10:40 2F・大ホール

「21世紀は水の世紀 水循環基本法と水行政」

竹村 公太郎 (たけむら こうたろう)
NPO 法人日本水フォーラム代表理事・事務局長
首都大学東京客員教授／東北大学客員教授 工学博士



第2分科会／2F・大ホール

長崎から取り組もう ～水の恐さとやさしさと共に～

テーマ水災害への備え・水辺の魅力を再発見しよう

コーディネーター 西田 茂 (延岡大学大学院工学研究科教授)

ナレリスト 山村 健志 (延岡市国領事務所)

植田 衡子 (KTNテレビ番組監修会議会員)

浅川 長 (延岡地区選合自治会議会長・長崎市保護運動研究会会員)

田崎 武詞 (延岡市・飯塚市を含む会員が所属)

玖須 理博 (川に学ぼうか・川上川(大分県地区)学生委員)

大平 晃弘 (川に学ぼうか・飯塚川(大分県地区)学生委員)

見て! 聞いて! 私たちのよか川／15:30～16:00 2F・大ホール

「気候変動の影響と今後の水と人との関わり」

多田 彰秀 (ただ あきひで)
長崎大学工学研究科教授
長崎県河川・ダム施設維持管理計画検討委員会委員長
長崎よか川交流会副会長



基調講演／10:40～11:50 2F・大ホール

長崎市立伊良林小学校 「見て! 聞いて! 私の中島川」
郡んかっぱ共和国 「郡川での子どもたちの活動報告」

全体会議／16:00～17:00 2F・大ホール

「各分科会まとめとメッセージ発信」

各分科会において取りまとめられた結果の報告と、今回の開催題目に沿った取りまとめをするため、実行委員長をコーディネーターに、各分科会のコーディネーターを務めた方々がパネリストとしてパネルディスカッションを行い、シンポジウムのメッセージを発信します。

道奥 康治 (実行委員会委員長)

角 哲也 (第3分科会コーディネーター)

西田 莲 (第3分科会コーディネーター)

立川 康人 (公益社団法人土木学会水工学委員会幹事長)

著書に「新編水力学」(共著)、「海洋性クレーン構造設計とデザイン」(共著) (技術出版社)など。

次回開催県代表 幸道 康治 (福井県 土木部長)

パネル展示・ブース設置団体

国土交通省九州地方整備局、長崎県、長崎市、(一社)日本建築学会、(一社)長崎建築学会、長崎よか川文庫会

次回開催県代表 幸道 康治 (福井県 土木部長)

パネル展示・ブース設置団体